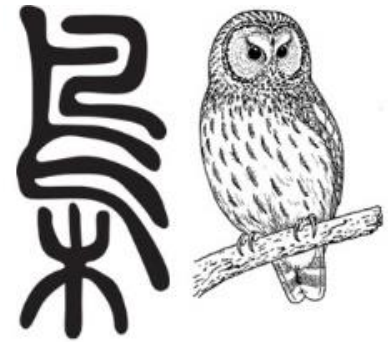


漢字でひもとく動物たちの伝説と現実

日比谷図書文化館では、3月16日(木)14時より、日比谷カレッジ「漢字でひもとく動物たちの伝説と現実」の講座を開催します。

動物漢字の世界には、さまざまな伝説があります。たとえば、悲しげに鳴く「不如帰(ほととぎす)」は、位を追われたある王の生まれ変わり、「麒麟(きりん)」は他の生きものを害さず、聖王の世にしか現れない動物、また南方の山中にはお酒に目がない「猩々(しょうじょう)」というサルが住んでいるなど、そういった伝説は、現実の動物とどのように関わっているのでしょうか？

本講座では、動物をめぐる伝説を具体的に紹介しながら、古人の豊かな想像力について考えます。



「鳥(ふくろう)」
円満字二郎『漢字の動物苑—鳥・虫・けものと季節のうつろい』
(岩波書店 2023)より

講師 円満字 二郎 (フリーライター)

1967年、兵庫県西宮市生まれ。大学卒業後、出版社で国語教科書や漢和辞典などの担当編集者として働く。2008年、退職してフリーに。著書に、『漢字ときあかし辞典』『部首ときあかし辞典』『漢字の使い分けときあかし辞典』『四字熟語ときあかし辞典』(以上、研究社)、『漢和辞典的に申しますと。』(文春文庫)、『漢字の植物苑 花の名前をたずねてみれば』(岩波書店)、『難読漢字の奥義書』(草思社)、『漢字が日本語になるまで』(ちくまQブックス)などがある。

開催概要

- 日時：3月16日(木)14:00~15:30(13:30開場)
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名(事前申込順、定員に達し次第締切)
- 参加費：1000円
- 申込方法：ホームページのお申し込みフォーム、電話(03-3502-3340)いずれかにて、①講座名、②お名前(ふりがな)、③電話番号(「お申し込みフォーム」からの場合は④メールアドレス)をご連絡ください。

※3月1日(水)~12日(日)は、図書館システムの更新に伴う休館につき、講座のお申し込み受付を含むサービスを一時休止いたします。休館期間中、電話は不通となり、ホームページをご覧いただけません。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

〈お問い合わせ先〉

千代田区立日比谷図書文化館 広報担当：並木 namiki-yuri@shopro.co.jp、岡本 okamoto-yoriko@shopro.co.jp

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-4 TEL：03-3502-3340/FAX：03-3502-3341

ホームページ：<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>